

重要業績評価指標（KPI）の達成状況について

資料 2

基本目標 1 活力と交流のある、住みたいまちづくり

(1) まちの活性化と生活環境の向上

①瀬戸内の交通結節点としてのポテンシャルの活用

施策	KPI		第2期の達成状況							担当課(室)	事業の進捗状況に関する評価 およびKPIの増減理由等	課題および今後の方針等
	指標名	当初値(H30)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	目標値(R6)	達成度(%) R5実績/目標値				
1	フルインター化	フルインター化に伴う企業誘致件数(累計)	-	2件(R2)	4件(R2~R3)	5件(R2~R4)	5件(R2~R5)	3件(R2~R6)	166.7	産業観光課	実績(企業誘致件数) 令和2年度:2件 令和3年度:2件 令和4年度:1件 令和5年度:0件 ※H29.7.21 フルインター化事業採択	令和2年度に県の番の州臨海工業団地が完売となり、誘致する用地に限られてきている。今後は工業適地の調査ならびに把握、また大規模立地を重視していた政策の転換についても検討が必要となる。
2	-	JR坂出駅の1日あたり乗車人員	5,355人	4,214人	4,204人	4,567人	4,801人	5,500人	87.3	-	四国内では4位となっている。令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、利用者数が大幅に減少していたが、徐々に回復傾向にある。 【令和5年度】 1位 高松 11,637人 2位 徳島 6,502人 3位 松山 5,800人 5位 高知 4,547人	坂出駅周辺の再整備などにより、県内屈指の交通アクセスの良さを誇る本市の強みをさらに向上させ、エリアの価値を高めることにより、交流人口の拡大、人口増加により乗車人員の増加を図る。
3	企業立地促進助成金	企業立地促進助成金を利用した市内新規常用雇用者数(累計)	54名(H26~H30)	36名(R2)	57名(R2~R3)	72名(R2~R4)	81名(R2~R5)	60名(R2~R6)	135.0	産業観光課	実績(利用件数・市内新規常用雇用者数・助成金額) ・平成28年度:0件 ・平成29年度:2件・5名・28,458千円 ・平成30年度:2件・5名・77,749千円 ・令和元年度:1件・2名・18,740千円 ・令和2年度:5件・36名・281,777千円 ・令和3年度:5件・21名・293,996千円 ・令和4年度:3件・15名・218,158千円 ・令和5年度:2件・9名・117,263千円	例年数件の助成実績があるが、番の州臨海工業団地における立地が完了してしまったこともあり、企業に提供できる工業適地の情報が無い状況である。目標値は達成しているが、今後の課題として工業適地の調査ならびに把握、また大規模立地を重視していた政策の転換についても検討が必要となる。

②都市の環境整備と地域公共交通の利便性向上

施策	K P I		第2期の達成状況						担当課(室)	事業の進捗状況に関する評価 およびK P Iの増減理由等	課題および今後の方針等
	指標名	当初値(H30)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	目標値(R6)	達成度(%) R5実績/目標値			
4	循環バス運行事業	循環バスの利用者数(人/年)	58,813人	48,156人	54,953人	55,317人	57,032人	58,000人	98.3	政策課	<p>新型コロナウイルス感染症拡大により利用者が減少していたところ、令和5年度は感染症の影響緩和で令和4年度と比較して利用者数が増加した。</p> <p>アフターコロナへの対応にあたり、令和4年11月に「地域全体が主役の、進化し続ける、持続可能な公共交通」を基本理念とする「坂出市地域公共交通計画」を策定し、公共交通無料デー、キャッシュレス市民割引など利用促進の取組を進めている。</p> <p>令和5年7月策定の「坂出市地域公共交通利便増進実施計画」に基づき、令和5年10月に循環バスの再編を実施した。再編に伴い、従来の3ルート運行が2ルート運行となったが、東西ルートとも中心部3箇所の総合病院へのアクセスを確保し、西ルートについては宇多津町の商業施設へアクセスするなど、効率化と利便性向上の両立を図った。また運行間隔についても従来の40分間隔から60分間隔に変更し、運行頻度は低下したが、各バス停を毎時間同分に出発する分かりやすいパターンダイヤに変更を行った。</p> <p>令和6年度は、再編により乗換の必要がなくなったことや、減便となったことで、令和5年度比減が見込まれるが、1便当りの利用者数は増加する見込みである。</p>

(2) 坂出の魅力発信

施策	K P I		第2期の達成状況						担当課(室)	事業の進捗状況に関する評価 およびK P Iの増減理由等	課題および今後の方針等
	指標名	当初値(H30)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	目標値(R6)	達成度(%) R5実績/目標値			
5	讃岐国府跡保存活用事業	讃岐国府跡調査報告会来場者数(人/年)	90人	90人	0	100人	110人	150人	73.3	文化振興課	<p>平成25年から実施しているが、参加者が固定化されている傾向がうかがえた。その年の講師や講演内容によって参加者に多少の増減が見られる。</p> <p>令和5年度については、コロナ禍等による中止を除き、毎年参加している熱心な層をはじめ、徐々に回復傾向にあると見込まれる。</p> <p>讃岐国府跡の発見当初は新聞報道が大きく、調査報告会の参加者数も多かった。今年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたこともあり、通常どおり講演会を実施して110人の来場者数を記録し、依然として関心の高さがうかがえた。</p> <p>令和4年3月に、遺跡の保存と活用の両立を図るための讃岐国府跡保存活用計画の策定も完了したため、毎年実施している市民ふれあい会館での報告会では、講演内容や日時等を十分検討し、さらなる情報発信に努めながら、目標値の参加人員の達成をめざす。</p>

施策	KPI		第2期の達成状況						担当課(室)	事業の進捗状況に関する評価 およびKPIの増減理由等	課題および今後の方針等	
	指標名	当初値(H30)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	目標値(R6)	達成度(%) R5実績/目標値				
6	ホームページ運営	市ホームページ全体のアクセス数(件数/年)	733,512 アクセス	913,081 アクセス	1,011,961 アクセス	1,064,600 アクセス	1,128,111 アクセス	719,000 アクセス	156.9	秘書広報課	<p>コロナ禍には、新型コロナウイルス感染症のページへのアクセス数が増え、令和2年3月に関連するページをとりまとめたページを作成した。</p> <p>令和3年3月には、カテゴリをわかりやすくするとともに、画像の多用やSNS、YouTube、バナーの設置等、見やすく使いやすくなるよう観光ページのリニューアルを実施した。</p> <p>令和3年5月には、トップページのスライドに、新型コロナワクチン接種と新型コロナウイルス感染症関連情報のページとリンクした画像を新設した。また令和4年度は、7月、8月に3年ぶりの開催となった大橋まつり関連ページのアクセス数が、令和5年度は8月に瀬戸大橋開通35周年記念海上花火大会のページのアクセス数が伸びている。</p>	引き続き、ウェブアクセシビリティにも配慮しながら、内容の充実と適時適切な情報提供を図り、だれもが利用しやすいホームページをめざす。
7	SNSを活用した観光情報の発信	(一社)坂出市観光協会のフェイスブックページのフォロワー数	704件(R1)	920件	1,081件	1,148件	1,213件	1,200件	101.0	産業観光課	<p>坂出市観光協会では、旅行先として選ばれるまちとなるよう、SNS等を活用し本市の旬の情報を効果的かつ効率的に発信した。</p>	<p>令和4年度に、観光協会を一般社団法人とした。法人化したことにより、旅行業の登録が可能となり、本市への旅行企画やツアーの造成、本市の地域資源を活用した観光客に選ばれる商品の開発・販売等を行うなど、観光による本市のPRや地域経済の活性化に寄与していく。</p> <p>引き続き、SNS等を活用し本市の旬の情報を効果的かつ効率的に発信し、旅行先として選ばれるまちをめざす。</p>
8	ふるさと坂出応援寄付	寄付件数(件数/年)	6,926件	14,617件	16,811件	16,182件	24,998件	17,000件	147.0	政策課	<p>寄付金額増加に向けて、令和4年9月に追加した「楽天ふるさと納税」および「ふるなび」の2つのポータルサイトについて認知度向上に努めるとともに、昨年度より地域活性化起業者制度を活用し、株式会社JTBより社員を派遣していただき、政策課職員と連携しながら、魅力的な返礼品の開拓に取り組んでいる。これらの取組の結果として、前年度対比146.9%を達成するとともに、本市として初めて5億円を超える寄付をいただいた。</p>	<p>地域活性化起業者制度を活用し、引き続き返礼品の充実に取り組むとともに、新たな寄付者獲得に向けて、昨年12月には「さとふる」の利用を開始しており、認知度向上に努めていく。</p> <p>また、同じく昨年11月より開始した寄付額1万円未満の返礼品については、より多くの方に本市を知ってもらおう取組のひとつであり、少額寄付をきっかけに継続的な寄付へとつなげていけるよう取組を強化していく。</p>
9		寄付金額(円/年)	119,050千円	371,566千円	394,768千円	360,905千円	530,072千円	500,000千円	106.0			

(3) 移住・定住の促進

① 移住の促進

施策	K P I		第 2 期の達成状況						担当課 (室)	事業の進捗状況に関する評価 および K P I の増減理由等	課題および今後の方針等
	指標名	当初値 (H30)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	目標値 (R6)	達成度(%) R5実績 /目標値			
10 空き家バンク	香川県空き家バンクサイトの市内物件登録件数(件数/年)	9件	26件	35件	51件	50件	40件	125.0	政策課	平成29年度から固定資産税の納税通知書にチラシを同封して制度の周知を図っており、認知度の高まりから、令和4年度以降は50件以上の登録件数で推移している。空き家バンクへの登録に関する相談についても増加傾向にある。	令和6年度から移住促進・空き家改修補助金について制度の拡充を図ったところであり、新聞等の取材も増えており、空き家バンクの登録についても併せて周知を図っていく。
11 移住促進・空き家改修等補助事業	移住促進・空き家改修等補助事業を利用した市外からの移住者数(累計)	0人	2人 (R2)	5人 (R2~R3)	8人 (R2~R4)	14人 (R2~R5)	10人 (R2~R6)	140.0	政策課	令和5年度については平成30年度の事業開始以降最も多い12件の利用があり、県外・市外からの利用についても多い状況であった。 実績 令和2年度 5件、移住者数 2人(市外1人、県外1人) 令和3年度 8件、移住者数 3人(市外1人、県外2人) 令和4年度 4件、移住者数 3人(市外3人、県外0人) 令和5年度12件、移住者数 6人(市外3人、県外3人)	中心市街地の空き家対策を一層加速するとともに、本市への更なる移住者増加につなげるために、令和6年度より市外から転入した補助対象者が居住誘導区域内の物件を改修する場合は、最大で200万円を補助することとし、制度の拡充を図った。

②若者の定住促進

施策	KPI	第2期の達成状況								担当課 (室)	事業の進捗状況に関する評価 およびKPIの増減理由等	課題および今後の方針等
	指標名	当初値 (H30)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	目標値 (R6)	達成度(%) R5実績 /目標値				
12 就職フェア	就職フェア参加者のうち市内企業への就職者数(累計)	-	2名 (R2)	4名 (R2~R3)	7名 (R2~R4)	R7.3頃 調査予定	15名 (R2~R6)	46.7 (R4実績)	産業観光課	<p>実施状況(参加企業・参加者数)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度: 32社・23名 (H31.3月) 令和元年度: 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 令和2年度: 28社・59名 (R3.3月) 令和3年度: 新型コロナウイルス感染症の影響により令和4年5月に延期 令和4年度①: 26社・22名 (R4.5月) 令和4年度②: 26社・26名 (R5.3月) 令和5年度: 28社・13名 (R6.3月) <p>面接などの選考活動スケジュールの変更や、売り手市場により8月の参加者数が減少したことから、平成28年度より、年2回開催していた就職フェアを1回のみとした。</p>	<p>日本経済団体連合会が令和3年以降の学生を対象とする採用選考に関する指針を策定しないことを正式に発表し、令和3年以降は政府が日本経済団体連合会に代わり新たなルール作りを主導することとなった。このような動きを注視しつつ、フェア開催時期等を検討しながら、将来的な市の人口増に繋がるよう今後も就職フェアを開催していく。</p> <p>追跡調査については、電話にて実施していたが、出してもらえないことも多く、別の方法を検討する必要がある。</p>	
13 UJIターン職員採用	UJIターンによる職員採用人数(累計)	1名 (R1)	1名 (R2)	2名 (R2~R3)	5名 (R2~R4)	6名 (R2~R5)	10名 (R2~R6)	60.0	職員課	<p>令和5年度採用は募集1名程度に対し、採用実績1名であった。</p>	<p>本市に定住することを条件としたUJIターン型採用枠を設定することにより、民間企業等で培った知識や経験を本市の発展や組織の活性化に役立てるとともに、本市の人口増加、定住促進に寄与する。今後の募集においても採用枠を設け、目標達成に努めていきたい。</p>	

(4) 交流人口の拡大と関係人口の創出

①観光を軸にした交流人口の拡大と関係人口の創出

施策	KPI	第2期の達成状況							担当課(室)	事業の進捗状況に関する評価 およびKPIの増減理由等	課題および今後の方針等	
	指標名	当初値(H30)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	目標値(R6)	達成度(%) R5実績/目標値				
14	瀬戸内国際芸術祭関連事業	瀬戸内国際芸術祭2022の沙弥島会場の来場者数 58,766人(芸術祭2016) 72,459人(芸術祭2019)	-	0人	44,790人	0人	78,000人	57.4 (R4実績)	産業観光課	瀬戸内国際芸術祭は3年に一度実施されている事業であり、令和5年度は実施年度ではないため実績は0人である。次回実施年度は令和7年度である。	瀬戸内国際芸術祭2022においては新型コロナウイルス感染症による制限によって来場者数が減少となったが、瀬戸内国際芸術祭2025では、同時期に開催される大阪・関西万博とも協調しながら、来場者数の増加を図っていく。	
15	観光振興事業	入込客数(人/年)	4,480,272人	2,736,930人	2,908,252人	4,031,862人	4,344,366人	4,700,000人	92.4	産業観光課	新型コロナウイルス感染症の影響により入込客数が落ち込んでいたが、徐々に回復傾向にある。	観光プロモーションビデオの作成や市ホームページにおける観光情報の特設サイト新設等により、本市の魅力をPRすることで交流人口の拡大を図っていく。
16	まちあるき事業	まちあるき事業のツアー参加者数(人/年)	758人	339人	144人	182人	188人	770人	24.4	産業観光課	令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたあと、徐々にツアーを再開している。	坂出市の魅力をPRできるまちあるきコースの造成や、既存の人気コースのブラッシュアップを実施し、交流人口の拡大を図っていく。
17	カヌーのまちさかいで推進事業	カヌー競技場の利用者数(人/年)	17,826人	8,217人	9,617人	13,969人	13,631人	18,000人	75.7	生涯学習課	令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことにより、さまざまなイベントや大会が通常開催されるようになり、大規模大会開催時ほどではないが、コロナ禍前のにぎわいを取り戻しつつある。 また、坂出市内の小学校や子ども会など各種団体のカヌー体験が定着し、令和5年度も継続して利用していただいている。	新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、イベント開催の制限もなくなったことから通常どおりの開催が可能となり、市内のみならず、より多くの方が利用できるようカヌー体験や各種イベントをカヌー協会含め競技団体と協力しながら積極的に実施していく。 また、令和7年度には全国中学生カヌー大会の開催も控えているため、より多くの方にカヌーというスポーツの認知度を高めていきたい。

②特色を生かした地域づくり

施策	KPI 指標名	第2期の達成状況							担当課 (室)	事業の進捗状況に関する評価 およびKPIの増減理由等	課題および今後の方針等
		当初値 (H30)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	目標値 (R6)	達成度(%) R5実績 /目標値			
18 讃岐国府跡保存 活用事業 (再掲5)	讃岐国府跡調 査報告会来場 者数(人/ 年)	90人	90人	0人	100人	110人	150人	73.3	文化振興課	<p>平成25年から実施しているが、参加者が固定化されている傾向がうかがえた。その年の講師や講演内容によって参加者に多少の増減が見られる。</p> <p>令和5年度については、コロナ禍等による中止を除き、毎年参加している熱心な層をはじめ、徐々に回復傾向にあると見込まれる。</p>	<p>讃岐国府跡の発見当初は新聞報道が大きく、調査報告会の参加者数も多かった。今年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたこともあり、通常どおり講演会を実施して110人の来場者数を記録し、依然として関心の高さがうかがえた。</p> <p>令和4年3月に、遺跡の保存と活用の両立を図るための讃岐国府跡保存活用計画の策定も完了したため、毎年実施している市民ふれあい会館での報告会では、講演内容や日時等を十分検討し、さらなる情報発信に努めながら、目標値の参加人員の達成をめざす。</p>
19 にぎわい創出事 業	にぎわい創出 事業を契機に 定着した事業 数(累計)	6件 (H27~H30)	9件 (R2)	10件 (R2~R3)	10件 (R2~R4)	9件 (R2~R5)	12件 (R2~R6)	75.0	産業観光課	<p>にぎわい創出事業を活用することで市民が自発的にイベント等を実施し、にぎわいづくりに参加する機会を創出できている。令和5年度は、令和4年度に引き続きMignon+坂出マルシェ運営委員会がパンマルシェを開催し、毎回盛況であった。また、新たに「ティラノレース大作戦！」実行委員会が日本各地で人気となっているティラノサウルスレースを開催し、話題を集めた。</p>	<p>今後にもぎわい創出事業により各種事業を支援することでにぎわいの創出を図っていく。</p>

基本目標2 子育て世代に選ばれるまちづくり

(1) 結婚・妊娠期からの切れ目ない支援

施策	KPI		第2期の達成状況						担当課(室)	事業の進捗状況に関する評価 およびKPIの増減理由等	課題および今後の方針等	
	指標名	当初値(H30)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	目標値(R6)	達成度(%) R5実績/目標値				
20	乳幼児健診等未受診者全員へのフォローアップ	乳幼児の健康状態の把握率	-	100%	100%	100%	100%	100%	100.0	けんこう課	令和5年度の乳幼児健診は、3-4月児健診99.2%、1歳6か月児健診98.2%、3歳児健診102.4%と高い受診率を維持できている。また、健診未受診の場合は必ず地区担当保健師が電話や訪問で状況を確認し、受診勧奨を継続して行っており、2回連続未受診であった場合は月に1回の会議において係内で協議する体制を整え、家庭環境を含めた乳幼児の健康状態の全数把握に努めている。	乳幼児の健康状態の把握は、児の健康についてだけでなく、受けなかった理由等について確認するとともに、保護者の養育に支援の必要性がないかも確認し、必要に応じてサービスを紹介している。必要時にスムーズに支援につなげるためには、保護者と信頼関係を築いておくことが大切であり、今後もあらゆる行事等の機会を通じて切れ目のない支援を実施していく。
21	ブックスタート事業	利用率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100.0	大橋記念図書館	平成16年度より継続して実施しており、対象市民の利用率も100%を維持している。	引き続きブックスタートで本にふれるきっかけづくりを行うとともに、令和6年度からは3歳児にも絵本を1冊プレゼントするセカンドブックサービスを開始し、子どもの自発的な読書へとつながるよう働きかけを行っていく。

(2) 安心して子どもを産み育てられる環境づくり

施策	KPI		第2期の達成状況						担当課(室)	事業の進捗状況に関する評価 およびKPIの増減理由等	課題および今後の方針等	
	指標名	当初値(H30)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	目標値(R6)	達成度(%) R5実績/目標値				
22	さかいで子育て支援センター(まるっ子ひろば)の運営	地域子育て支援拠点事業利用者数(人/年)	9,646人	6,032人	5,085人	8,330人	8,380人	9,700人	86.4%	こども課	平成28年4月の子育て支援センターの開所以来、認知度も徐々に高くなってきている。また、平成29年度から開始した一時預かり事業や利用者支援事業の利用者数についても当初の想定を超え子育て世帯のニーズも増加傾向にある中、地域における子育て支援の拠点としての機能を果たすことができている。	令和7年度以降は令和6年度に策定予定である「第3期坂出市子ども・子育て支援事業計画」(坂出市子ども計画)に沿って、民間の子育て支援のノウハウを活かした指定管理による運営を継続していく。また、利用者等からの意見や要望からニーズを把握し、できる限り運営に反映させ、子育て支援の拠点として継続的な役割を果たしていく。
23		一時預かり事業利用者数(人/年)	421人	423人	568人	452人	541人	430人	125.8%			
24		利用者支援事業利用者数(人/年)	361人	574人	492人	596人	596人	400人	149.0%			

(3) 未来を拓く力をはぐくむ人づくり

施策	K P I		第2期の達成状況						担当課 (室)	事業の進捗状況に関する評価 およびK P Iの増減理由等	課題および今後の方針等	
	指標名	当初値 (H30)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	目標値 (R6)	達成度(%) R5実績 /目標値				
25	心をはぐくむ講師派遣事業	心をはぐくむ講師派遣事業の講演等への満足度	-	90%	95%	95%	95%	85%	112.0	学校教育課	<p>小学校3校、中学校2校を対象に、社会の様々な分野で活躍している著名な方々を招いて講話やワークショップを行った。</p> <p>実施後のアンケート調査や児童生徒の感想からは、事業に対する満足度はどの学校においても95%を超える肯定的な回答が得られている。感想においても、これからの自身のあり方や生き方に重ね合わせた内容の記述が数多くみられ、「貴重な学びの機会となった」という趣旨のものが多くみられた。</p>	<p>事業対象校は、予算に見合った講師の選択の難しさを感じている。また、どのような内容や方法が児童生徒の心に響くものとなるかということにも苦慮しながらも講師を選定している。</p> <p>児童生徒の豊かな心をはぐくむため、今後も常に情報収集に努め、事業に見合った講師の選定やワークショップなど体験的な活動を取り入れるなど内容や方法の工夫を図っていきたい。</p>
26	王越宿泊型野外活動施設「交流の里 おうごし」の運営	利用者数(人/年) H29.4開設	3,636人	1,476人	1,482人	2,398人	3,753人	4,000人	93.8	生涯学習課	<p>平成29年度に開設した宿泊型野外活動施設であり、利用団体等からの要望もあり、平成30年度に宿泊室へエアコンを設置し、令和5年度には料理実習室の整備と設備の工事を行い、利便性の向上を図った。また、新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことにより、利用者数、使用料ともに増加した。</p>	<p>民間ニーズへの対応として、令和6年度より条例改正を行い、施設使用の範囲を定めた上で、営利目的での利用を認め、さらなる平日の稼働率の向上や使用料収入の増額に努めていく。</p> <p>また、トンボ学校を始めとする季節に応じたイベントの開催を行うほか、とんぼランドをPRするなど王越地区の魅力の発信やにぎわいの創出を図っていく。</p>

(4) すべての人が活躍できる環境の整備

施策	K P I		第2期の達成状況						担当課 (室)	事業の進捗状況に関する評価 およびK P Iの増減理由等	課題および今後の方針等	
	指標名	当初値 (H30)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	目標値 (R6)	達成度(%) R5実績 /目標値				
27	審議会等における女性委員の就任	審議会等における女性委員の割合	17.2%	18.4%	20.4%	21.2%	24.5%	30%	81.7	人権課	<p>令和5年度実績においては、委員総数が前年度の349人から363人へと約4%増加したのに対し、そのうち女性委員数は前年度74人から89人へと約20%増加したことで、女性委員の割合は前年度に比べ増加した。</p> <p>令和5年7月より審議会等における女性委員の登用率向上のため、審議会等委員の委嘱時における所管課から市民生活部長への事前協議と委嘱決裁時の合議を導入し、微増ではあるが女性委員数の向上が見られたので、引き続き庁内各課へ女性委員の積極的増員を呼びかけていく。</p>	<p>現在の委員総数363人に対する目標値(3割)は109人であり、20人不足している状況である。現状推移からは目標年度での達成は厳しい状況である。</p>
28	管理職等への女性の登用	市の係長級以上の女性職員の割合	31.8%	33.3%	32.8%	31.6%	33.4%	33%	101.2	職員課	<p>令和5年度は、市の係長級以上の女性の割合は33.4%であり、前年度に比べ増加し目標値を達成した。なお、令和6年4月1日時点における数値は35.4%となっており、さらに増加し継続して目標を達成している。</p>	<p>女性活躍推進法が平成28年4月1日施行となり、今後も能力が高く、実績ある女性を積極的に管理職等に登用し、係長級以上の女性職員の割合33%という数字を維持していく。</p>

施策	K P I		第 2 期の達成状況							担当課 (室)	事業の進捗状況に関する評価 およびK P I の増減理由等	課題および今後の方針等
	指標名	当初値 (H30)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	目標値 (R6)	達成度(%) R5実績 /目標値				
29 女性消防団員の 拡充	女性消防団員 数	26名	26名	25名	25名	25名	30名	83.3	消防本部	こどもから大人まで幅広い年齢層を対象とした防災訓練、救急講習等は女性消防団員のきめ細かな指導もあり、好評を得ていることから退団者もなく精力的に活動を継続している。	現在の女性分団の活動が成熟していることもあり、新たな入団者を募集する動きに繋がりにくくなっている。新たな啓発方法を模索し、活動の場を広げていくとともに新入団員勧誘活動も実施していく。	
30 日本語教室の開 催	日本語教室の 学習者数(人 /年)	373人	158人	188人	181人	311人	420人	74.0	秘書広報課	令和元年度実績は460人で、目標値を達成したが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で半分に減少した。令和2～4年度は感染防止対策として日本語教室の定員数削減や約3か月間の休止等を行ったこと、また学習者の外出控え等の理由により学習者数が減少したが、令和5年度は新型コロナウイルス感染症の5類移行により、学習者数はコロナ禍前に戻りつつある。	引き続き、日本語ボランティアと連携して、既存学習者への日本語教室の開催の案内や生活・イベント情報の提供をこまめに行い、併せて在住外国人や日本語ボランティア希望者への広報・周知を行うことで、新規学習者の掘り起こしや日本語ボランティアの確保に努めていく。	

基本目標3 安心して暮らしやすい、持続可能なまちづくり

(1) 企業誘致と産業振興による働く場の確保

① 企業立地の促進と競争力強化の支援

施策	KPI 指標名	第2期の達成状況							達成度(%) R5実績 /目標値	担当課 (室)	事業の進捗状況に関する評価 およびKPIの増減理由等	課題および今後の方針等
		当初値 (H30)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	目標値 (R6)					
31 企業立地促進助 成金	企業立地促進 助成金利用件 数(累計)	10件 (H26~ H30)	5件 (R2)	10件 (R2~R3)	13件 (R2~R4)	15件 (R2~R5)	15件 (R2~R6)	100.0	産業観光課	実績(利用件数・市内新規常用雇用者数・助成 金額) ・平成28年度:0件 ・平成29年度:2件・5名・28,458千円 ・平成30年度:2件・5名・77,749千円 ・令和元年度:1件・2名・18,740千円 ・令和2年度:5件・36名・281,777千円 ・令和3年度:5件・21名・293,996千円 ・令和4年度:3件・15名・218,158千円 ・令和5年度:2件・9名・117,263千円	例年数件の助成実績があるが、番の州臨海工 業団地における立地が完了してしまったことも あり、企業に提供できる工業適地の情報がない 状況である。目標値は達成しているが、今後の 課題として工業適地の調査ならびに把握、また 大規模立地を重視していた政策の転換について も検討が必要となる。	
	32	企業立地促進 助成金を利用 した市内新規 常用雇用者数 (累計) [再掲3]	54名 (H26~ H30)	36名 (R2)	57名 (R2~R3)	72名 (R2~R4)	81名 (R2~R5)	60名 (R2~R6)				135.0
33	就職説明会等出 展支援事業補助 金	-	0件 (R2)	0件 (R2~R3)	1件 (R2~R4)	1件 (R2~R5)	10件 (R2~R6)	10.0	産業観光課	制度自体の認知が広まっていなかったが、バ スツアー、就職フェア等の機会を利用し、周知 を図ったこともあり、問い合わせが増えてきて いる。	今後もバスツアー等の機会はもちろん、坂出 ビジネスサポートセンターや坂出商工会議所と 連携した周知に努め、市内事業者の雇用問題解 決に繋がるように支援していく。	
34	特許取得促進事 業	1件 (H27~H30)	0件 (R2)	0件 (R2~R3)	1件 (R2~R4)	1件 (R2~R5)	3件 (R2~R6)	33.3	産業観光課	実績(利用件数・補助金額) ・平成28年度:1件・200千円 ・平成29年度~令和3年度:実績なし ・令和4年度:1件 ・令和5年度:実績なし	特許取得推進事業を広く周知し、坂出市の産 業活性化に繋がるよう支援していく。	
35	高校生徒資格取 得費補助金	245名	250名	265名	184名	210名	300名	70.0	産業観光課	実績(合格者数・補助金額) ・令和2年度:250名・760,010円 ・令和3年度:265名・865,260円 ・令和4年度:184名・613,600円 ・令和5年度:210名・762,410円 例年200名強の合格者に対し補助金を支出して いる。今後も制度の周知を行いながら資格取得 補助を行う。	新たな資格に対する審査申請については、適 正な審査を行いつつ資格取得補助に努めてい く。	
36	日本語教室の開 催 [再掲30]	373人	158人	188人	181人	311人	420人	74.0	秘書広報課	令和元年度実績は460人で、目標値を達成した が、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の 影響で半分以下に減少した。令和2~4年度は感 染防止対策として日本語教室の定員数削減や約3 か月間の休止等を行ったこと、また学習者の外 出控え等の理由により学習者数が減少したが、 令和5年度は新型コロナウイルス感染症の5類移 行により、学習者数はコロナ禍前に戻りつつあ る。	引き続き、日本語ボランティアと連携して、 既存学習者への日本語教室の開催の案内や生 活・イベント情報の提供をこまめに行い、併せ て在住外国人や日本語ボランティア希望者への 広報・周知を行うことで、新規学習者の掘り起 こしや日本語ボランティアの確保に努めてい く。	

施策	KPI		第2期の達成状況						担当課(室)	事業の進捗状況に関する評価 およびKPIの増減理由等	課題および今後の方針等	
	指標名	当初値(H30)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	目標値(R6)	達成度(%) R5実績/目標値				
37	坂出ビジネスサポートセンター運営事業における	相談件数(件数/年)	-	147件	811件	841件	813件	1,100件	73.9	産業観光課	<p>坂出ビジネスサポートセンター(Saka-Biz)は令和3年2月28日に開設し、令和3年3月1日より相談業務を開始している。令和5年度末までに2,612件の相談に対応した。</p> <p>起業(創業)の相談件数も増加傾向にあり、令和5年度は18件もの創業が実現した。また、需要に応じる形で起業をテーマとしたセミナーを5件実施した。適切な支援と組み合わせることで、今後のさらなる件数増加が見込める。</p>	<p>相談による成功事例を増やし、対外的にアピールすることで、新規相談者の獲得に努め、より一層の支援を行う。</p> <p>起業に関する相談が実際の起業につながるように、補助金や空き店舗情報サイトの活用を進めるとともに、関係機関と連携しながら支援に努める。</p>
38		支援事業による起業件数(累計)	-	0件(R2)	6件(R2~R3)	6件(R2~R4)	24件(R2~R5)	25件(R2~R6)	96.0			

②魅力ある農林水産物づくりと地域ブランドの展開

施策	KPI		第2期の達成状況						担当課(室)	事業の進捗状況に関する評価 およびKPIの増減理由等	課題および今後の方針等	
	指標名	当初値(H30)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	目標値(R6)	達成度(%) R5実績/目標値				
39	ふるさと坂出応援寄付 [再掲8,9]	寄付件数(件数/年)	6,926件	14,617件	16,811件	16,182件	24,998件	17,000件	147.0	政策課	<p>寄付金額増加に向けて、令和4年9月に追加した「楽天ふるさと納税」および「ふるなび」の2つのポータルサイトについて認知度向上に努めるとともに、昨年度より地域活性化起業人制度を活用し、株式会社JTBより社員を派遣していただき、政策課職員と連携しながら、魅力的な返礼品の開拓に取り組んでいる。これらの取組の結果として、前年度対比146.9%を達成するとともに、本市として初めて5億円を超える寄付をいただいた。</p>	<p>地域活性化起業人制度を活用し、引き続き返礼品の充実に取り組むとともに、新たな寄付者獲得に向けて、昨年12月には「さとふる」の利用を開始しており、認知度向上に努めていく。</p> <p>また、同じく昨年11月より開始した寄付額1万円未満の返礼品については、より多くの方に本市を知ってもらう取組のひとつであり、少額寄付をきっかけに継続的な寄付へとつなげていけるよう取組を強化していく。</p>
40		寄付金額(円/年)	119,050千円	371,566千円	394,768千円	360,905千円	530,072千円	500,000千円	106.0			

(2)さらなる市民共働の推進

施策	KPI		第2期の達成状況						担当課(室)	事業の進捗状況に関する評価およびKPIの増減理由等	課題および今後の方針等	
	指標名	当初値(H30)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	目標値(R6)	達成度(%) R5実績/目標値				
41	坂出市政出前講座	「なるほど！坂出！！出前講座」の実施回数(回/年)	-	67回	68回	171回	206回	125回	164.8	秘書広報課	令和元年度にスタートし、当初の実施回数は118回の実績があったが、令和2、3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大による中止等の期間を設けたため、回数が大幅に減少した。令和4、5年度は、コロナ禍による制限が緩和され、実施回数が増えている。	各課に講座内容等について見直しを促し、内容の充実を図るとともに、周知にも努めていく。
42	出前市役所	出前市役所の実施回数(回/年)	52回	25回	3回	16回	20回	60回	33.3	総務課	令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、職員の派遣の制限や、地域の行事・会合等が中止・制限されたことから、回数が減少したが、令和4年度は規制が緩和され、回数も増加し、令和5年度もその傾向が継続している。	地域の課題となっている事項等について、自主的な問題提起ならびに班員との共有が図られ、ともに課題解決に向けて取り組む機運を醸成していくことが課題であるとともに今後の取り組み方針である。 新型コロナウイルス感染症についても規制が緩和されており、地域において、行事・会合等も増加していく中、地区担当職員制度としての関わり方を強化していく必要がある。
43	自治会活動保険補助金	自治会活動保険補助金の補助件数(件数/年)	42件	33件	35件	39件	44件	60件	73.3	総務課	補助件数は、令和元年度まで増加傾向であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、地域の行事等が中止になり、活動保険を利用する回数が減少したと考えられるが、少しずつ回復の傾向が見られる(令和元年度実績54件)	新型コロナウイルス感染症についても規制が緩和されていることから、地域において、実施される行事等に対し、活動保険を活用していただくよう、機会を捉え、さらなる周知を図っていく。
44	図書館支援ボランティア事業	図書館支援ボランティア事業の共働事業の参加人数(人/年)	5,212人	1,675人	1,962人	3,561人	2,984人	5,800人	51.4	大橋記念図書館	新型コロナウイルス感染症の感染拡大前と同規模の行事が開催されるようになり、行事のほとんどは前年度より参加者が増加している。一方で、高齢者向けの行事の参加者は減少傾向にあり、高齢者施設などへの訪問も再開できていないことから、全体的な参加者数は減少した。	市民のニーズの把握に努め、ボランティア事業の見直し等協議を行い、子どもから高齢者まで、広く行事への参加を呼びかけていく。また、ボランティアの高齢・固定化に対する後継者の育成を図っていく必要がある。

(3) 健幸のまちづくりの推進

施策	K P I		第2期の達成状況						担当課 (室)	事業の進捗状況に関する評価 およびK P I の増減理由等	課題および今後の方針等
	指標名	当初値 (H30)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	目標値 (R6)	達成度(%) R5実績 /目標値			
45 がん検診事業	受診率(胃がん)	4.1%	2.6%	3.5%	3.3%	3.3%	5.0%	66.0	けんこう課	令和5年度のがん検診受診率は令和4年度とほぼ横ばい状態で推移している。令和5年度から集団検診のWEB予約を開始し、若い世代からの利用は高くなっているが、受診率の向上にはつながっていない。目標の達成までには至っていないため、今後も受診率向上のための施策が必要となる。	令和6年度からがん検診の案内封書であることが分かりやすいように、茶色の封筒からピンク色の封筒に変更し、案内を手にとってもらえるようにした。 今後も未受診者への受診勧奨を効果的に行っていく。
	受診率(大腸がん)	14.2%	11.9%	13.1%	13.4%	13.3%	17.0%	78.2			
	受診率(肺がん)	17.6%	13.3%	15.3%	15.9%	16.0%	20.0%	80.0			
	受診率(子宮頸がん)	14.0%	12.6%	13.7%	15.0%	14.8%	17.0%	87.1			
	受診率(乳がん)	17.2%	15.7%	16.2%	17.3%	17.1%	20.0%	85.5			
46 特定健康診査	受診率	36.8%	31.3%	36.6%	37.3%	39.1% (暫定)	60%	65.2	けんこう課	令和5年度の特定健康診査受診率は、令和4年度に引き続き前年度を上回った。これは委託によって実施したナッジ理論とAIによる分析に基づいて作成した未受診者勧奨通知の送付に加え、市役所にて行った集団健診が効果的であったと考えられる。 しかし、依然として目標値を大きく下回っているため、今後も受診率向上に取り組む必要がある。	未受診者に対する受診勧奨通知の送付に効果があることを踏まえ、同勧奨通知の送付事業を継続して行っていく。
47 かがわ健康ポイント事業	「マイチャレカード」発行数	153人	266人	345人	350人	412人	300人	137.3	けんこう課	香川県の「かがわ健康ポイント事業」に市独自の特典の上乗せ、市独自の健康ポイント事業の同時実施により、継続した健康づくり活動につながっている。	香川県に事業の継続を要望していくとともに、新規および継続参加者が増えるよう、周知啓発・新規企画など香川県と連携して取り組んでいく。
48 ラジオ体操普及事業	ラジオ体操普及拠点数(ミニ広場を含む)	7か所	7か所	7か所	7か所	7か所	13か所	53.8	生涯学習課	令和5年度は、地区巡回で実施しているラジオ体操大会を、坂出小学校体育館で開催した(参加者実績87人)。しかしながら、新規ラジオ体操広場の開設には至らなかった。	ラジオ体操広場未設置の地域への新規広場の開設を図っていく。
49 地域ケア会議	地域ケア会議の開催回数(回/年)	62回	57回 (地域ケア会議 0回+ 個別ケア会議 9回+48 回(包括))	59回 (地域ケア会議 1回+ 個別ケア会議 11回 +47回(包括))	57回 (地域ケア会議 0回+ 個別ケア会議 12回 +45回(包括))	38回 (地域ケア会議 2回+ 個別ケア会議 12回 +24回(包括))	65回	58.5	かいご課	地域ケア会議は、2か月に1回開催を予定していたが、令和5年度は年2回の開催となった。 個別ケア会議は、毎月1回開催しており、困難事例について、多職種による検討を行った。 包括ケアマネ会議は、令和5年度は月2回開催し、自立支援のための事例検討を行った。	多問題を抱えた世帯への支援が増加していることから、関係課や関係機関を含めた検討ができる体制の構築が必要となっている。

施策	KPI		第2期の達成状況						担当課(室)	事業の進捗状況に関する評価およびKPIの増減理由等	課題および今後の方針等	
	指標名	当初値(H30)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	目標値(R6)	達成度(%) R5実績/目標値				
50	生活支援体制整備事業	第2層協議体の設置数	7地区	11地区	11地区	11地区	11地区	12地区	91.7	かいご課	平成29年4月に、第1層協議体「坂出 ささえまる ネットワーク」を発足。それに伴い、平成29年6月に第1層生活支援コーディネーターとして、坂出市社会福祉協議会を選任した。令和元年度に、生活支援全体のコーディネートを市社協に委託した。令和5年度末時点で市内11地区に、第2層協議体設置済。	継続して、市内全地区における第2層協議体の設置を働きかけていく。また、生活支援コーディネーターである市社協と連携して、各地区の実状に応じて、具体的な支え合い・助け合いの活動に向けて、働きかけを行っていく。
51	認知症サポーター養成講座	認知症サポーター養成講座受講者数	3,838人	4,346人	4,419人	4,603人	4,844人	5,000人	96.9	かいご課	認知症サポーター養成講座の定期開催等受講者の増加を図るも新型コロナウイルス感染症拡大の影響で開催回数が増減したが、年々、受講者数は回復傾向にある。	講座開催について、小学生向けの講座を独自に開催したり、定期的な講習の開催などを行い、受講者数の増加を図っていく。

(4) 災害・防災対策の強化と持続可能な地域づくり

施策	KPI		第2期の達成状況						担当課(室)	事業の進捗状況に関する評価およびKPIの増減理由等	課題および今後の方針等	
	指標名	当初値(H30)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	目標値(R6)	達成度(%) R5実績/目標値				
52	自主防災組織支援事業	活動費および資機材整備事業補助金交付件数(件数/年)	13件	2件	2件	8件	10件	20件	50.0	危機管理課	組織数：102組織 新型コロナウイルス感染症による制限が緩和され自主防災組織の活動数が増加した。	防災講話や訓練の実施などによって、組織の防災力向上を進めていく。
53	防災士資格取得費補助金	利用人数(人/年)	9人	8人	10人	11人	5人	毎年度10人	50.0	危機管理課	制度の認知度の高まりから、補助の利用件数が増加傾向にあったが、令和5年度については全体で5件の利用となり、前年度と比べて市内の資格取得者が少なかったことなどが減少の要因と考えられる。	社会の様々な場で減災と社会の防災力向上のための活動が期待される防災士の役割等をあらゆる機会周知していく。
54	防災・危機管理スペシャリスト	認定人数(累計)	-	16人(R2)	16人(R2~R3)	16人(R2~R4)	16人(R2~R5)	25人(R2~R6)	64.0	危機管理課	令和2年度の初回認定により16人が認定された。また、令和5年度に認定のための研修を13人に対し実施した。	令和6年度中に認定式を実施し、目標値を達成する見込み。

施策	KPI	第2期の達成状況							担当課(室)	事業の進捗状況に関する評価およびKPIの増減理由等	課題および今後の方針等	
	指標名	当初値(H30)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	目標値(R6)	達成度(%) R5実績/目標値				
55	民間住宅耐震対策支援事業	耐震診断件数(件数/年)	14件	9件	14件	14件	14件	25件	56.0	建設課	民間住宅耐震化の普及啓発活動を行うとともに、民間住宅の耐震診断の実施に対して補助を行った。	今後も引き続き、普及啓発活動に取り組み、民間住宅の耐震化を支援する。
56		耐震改修件数(件数/年)	10件	10件	10件	11件	7件	15件	46.6		民間住宅耐震化の普及啓発活動を行うとともに、民間住宅の耐震改修工事の実施に対して補助を行った。原材料費等の物価高騰が件数に影響したものと考えられる。	今後も引き続き、普及啓発活動に取り組み、民間住宅の耐震化を支援する。
57	女性消防団員の拡充[再掲29]	女性消防団員数	26名	26名	25名	25名	25名	30名	83.3	消防本部	こどもから大人まで幅広い年齢層を対象とした防災訓練、救急講習等は女性消防団員のきめ細かな指導もあり、好評を得ていることから退団者もなく精力的に活動を継続している。	現在の女性分団の活動が成熟していることもあり、新たな入団者を募集する動きに繋がりにくくなっている。新たな啓発方法を模索し、活動の場を広げていくとともに新入団員勧誘活動も実施していく。
58	橋梁管理	市道における橋梁の補修箇所数(累計)	16橋(H27~H30)	7橋(R2)	19橋(R2~R3)	27橋(R2~R4)	31橋(R2~R5)	25橋(R2~R6)	124.0	建設課	橋梁点検結果に基づき、緊急性の高い橋梁から順次、修繕工事を実施している。	橋梁の長寿命化を図るため、今後も引き続き橋梁点検結果を踏まえて、修繕工事を実施する。
59	地震津波対策事業	地震津波対策事業における対策箇所延長(累計)	248メートル(H28~H30)	298メートル(R2)	343メートル(R2~R3)	343メートル(R2~R4)	405メートル(R2~R5)	1,014メートル(R2~R6)	39.9	港湾課	令和4度において入札不調による施工方法および発注規模の見直しを要したため事業の進捗に遅れが生じているが、目標達成に向け、事業の進捗を図る。	南海トラフ地震等により発生する津波から背後地を防護するため、今後も引き続き計画的に地震津波対策事業を実施する。